

TRIADE

心箱の小さなオブジェ

洋酒マメ天国

縦 9.5 横 6.8 厚 1.2cm (3冊セットの函付き) 縦 10 横 7 厚 4cm)

1956年、寿屋(現サントリー株式会社)がトリスバー(1960年代頃人気を博したサントリーのウイスキーをだす庶民的なバー)の常連客へのサービスとして創刊したのがPR誌「洋酒天国」。



創刊者は開高健、柳原良平、坂根進。

山口瞳、野坂昭如、草野心平、植草甚一、澁澤龍彦らが筆に任せてのびのびと書き、横尾忠則、金子国義、和田誠が挿絵を、篠山紀信、秋山庄太郎等が写真をと、それは錚々たる顔ぶれ。

「一流執筆陣が、その貴重な体験をと
おして、酒と人、その周辺を語る人生処方集、いふなればドリンカーにもビギナーにも恰好のポケットブック! (「月報洋酒マメ天国」より抜粋)」

大人になった青少年達の心をはっきり掴み「夜の岩波文庫」とも言われた。

さて、その洋酒天国を1967年から12回・3年完結の配本形式で全36巻にまとめたのが「洋酒マメ天国」。その名のとおりマメ本で、紙のカバーは全て柳原良平のイラストデザイン。もちろん「アंकルトリス」だって表紙を飾ります。紙カバーをはずすと、ボルドー色の革張り風の装丁、型押し、箔押し、一冊ごとに違うマークが刻印されているというマメな豪華本です。



今回ご紹介するのは、36巻の中から年末年始に役立ちそうなネタの詰まった3巻。小さな函に納まった大人の教養本です。

* 古書ですので、しみや汚れ色あせがございます。ご了承いただければ幸いです。

洋酒マメ天国 第5巻 ワイン

昭和43年8月30日発行

著者 洋酒マメ天国編集部



発行 サントリー株式会社

挿絵 柳原良平

95 ページ

「目次」

第一章 ワインとはなんぞや

第二章 古代ワイン

第三章 ボルドーとバーガンディー

第四章 ワインの神秘

第五章 日本のワインの先覚者

洋酒マメ天国 第 27 巻 架空会見記

昭和 43 年 2 月 30 日発行

著者 池島信平

発行 サントリー株式会社

挿絵 和田誠

95 ページ

「目次」

第一章 釈迦

第二章 クレオパトラ

第三章 成吉思汗

第四章 徳川家康

第五章 リンカーン

第六章 高杉晋作

第七章 キューリー夫人



洋酒マメ天国 第 32 巻 ポーノトピア

昭和 44 年 7 月 30 日発行

著者 野坂昭如

発行 サントリー株式会社

挿絵 横尾忠則

95 ページ

「目次」

第一章 総論

第二章 わがワイセツの自伝

第三章 わがいとしのムスコ

第四章 エロチシズムの極致

第五章 ダッチワイフの研究

第六章 「眠れる美女」の礼賛



https://shinartbooks.com/rare/yoshu_mame_tengoku.html#r-4